

卒業祝い



校長
藤原 政広

「夢の途中」

3年生の皆さん、卒業おめでとう。清瀬高校での3年間の学びを経て大きく成長し、また一步、夢の実現に近づいたことだろう。
皆さんにとってこの一年は、新型コロナウイルスの影響による自宅学習、部活動の公式戦や学校行事の中止、また初めての大学入学共通テストへの挑戦と生涯忘れることのできない一年間になっただろう。残念ながら卒業後も、社会全体で平和な日常を取り戻すためにコロナとの戦いは当分続くだろう。でもそれに負けるな。その窮屈な中で、新しい日常のせいに立ち止まったり、今の夢を小さくしてはいけない。卒業後も夢の実現に向け自分への挑戦をさらに続けてほしい。チャレンジ!!



副校長
竹原 義和

卒業おめでとうございます

先日、劇団四季「オペラ座の怪人」を観に行きました。コロナ禍、久しぶりのミュージカル観劇でした。やはり、ナマはいい。第2幕の「マスカレード」は鳥肌が立ちました。どんなにオンラインで頑張っても生身の人間が活動する姿にはかなわない一、と感じた瞬間でした。
昨日、1・2年生の進路ガイダンスが体育館であり、本校の卒業生たちが作成した YouTube 動画（大学生活や進路選択の話を自分で動画に撮り解説字幕を入れたもの）を生徒たちと一緒に見せてもらいました。話の内容に感動したけれども、動画の中で実験をしていたり、愉快な字幕を入れていたりして、その発想や技術にはもっと感動しました。若者の ICT を使いこなす力はすごい一、と感じた瞬間でした。
これから社会に旅立っていく清高46回生の皆さん、自分のやりたいことに挑戦して秘められた力を存分に発揮してください。▲Defying Gravity!▲



PTA会長
岡 マリ子

「自分を信じて」

ご卒業おめでとうございます。
清高の3年間、あっという間でしたが、ここで得た経験、友達、先輩、後輩、先生方の教えなど、思い出ぎっしりの濃い3年間でしたね。ぐんと成長し、今まさに自分で選んだ道を歩もうとしている姿は、誇らしくもあり、少しさびしくもあります。
夢に向かって期待で胸が膨らんでいる人もいれば、不安いっぱいの人、壁にぶつかっている人、まだまだ目標がわからず迷っている人もいます。
でも、焦らないでください。
私たち親は、今までもこれからもどんな時も皆さんの人生を応援しています。大丈夫！
どうか、自分を信じて未来に向かって進んでいってください。



3年1組担任
佐久間 日奈子

46回生の皆さん、卒業おめでとうございます。
長崎県への修学旅行から帰るとすぐに、コロナウィルスが猛威を振るいました。先進国でもこのウィルスの蔓延をくい止めることができない現実、驚かされました。こんな風に何が起るか解らない状況で、私もみんなも初めての人生のひとときを過ごしています。
～心が愉快であれば終日歩んでも嫌になることはない。心に憂いがあれば、わずか一里でも嫌になる。(シェクスピア)～
人生には成功も失敗も必ずあります。成功に驕らず、失敗に落胆しすぎず、前向きに生きて下さい。中止となった体育祭や合唱祭、文化祭で使ったはずの皆さんのエネルギーが今は地中深く根を張るエネルギーとなって、いつかまた別の機会に立派な花になると信じています。元気ですね！



3年2組担任
堀井 砂織

「Positive people will サクシード in life.」

親愛なる 46 回生のみなさん、卒業おめでとうございます。
出会った頃のまだ少し幼かった皆さんが大人の顔つきになった姿を見ると、3年間という時はあっという間に思えて、人を成長させるのは十分な時間なのだと感じています。
清瀬高校での学校生活はどうでしたか。
学年目標であった「自主自律」、「千思万考」は実現できましたか。実現できた人は継続して、実現途中の人は心掛け続けて欲しいです。
卒業はゴールではありません。スタートです。ここからが始まりです。清瀬高校で得たことを、自分の財産として携えて、それぞれの道へ歩いていってください。
みんなに出会えてよかったです。3年間ありがとう。
旅路の最後まで希望と理想を持ち続け、進んでいくものでありますように。



3年3組担任
恒田 良平

卒業おめでとうございます!!

入学式、HR 合宿、体育祭、文化祭、合唱コンクール、そしてマラソン大会、すべてがつい最近の出来事のように感じます。一緒に過ごさせてもらった3年間は本当に早かったです。その月日の中でみんなはみるみる成長し、頼もしい存在にもなってくれました。コロナでみんなの思いが届かなかったところも少しはあるかもしれないけど、すべてを出し切ってくれたように思います。そして、この清瀬高校で学んだことを大切にしてください。この清瀬高校で出会った友人も大切にしてください。これからの進路は別々になってしまうけど、常にその裏には清瀬で培ったものや経験があり、みんなを後押ししてくれるはずです。
どうなるかわからない時代だからこそ、意思を強く持って!!
自分の夢に突き進め!!
がんばれ!! 46 回生!!



3年4組担任
安田 寛

46 回生のみなさんへ

僕は合宿が嫌いです、という話をしたのを覚えていますか。入学後すぐの HR 合宿です。「旅行」は楽しむものだけど、「合宿」は成果を出さなければならない。その成果はすぐにはわからない。だから嫌いなんだ…という話をしました。
あの合宿の成果はどうだったのか。それを決めるのは僕ではないですね。あれから2年と8か月が過ぎ、高校生活の終わりを迎えようとしています。HR 合宿から始まった高校生活、合宿の成果を生かし、楽しんでくれたでしょうか。かけがえのない瞬間を、たくさん味わってもらえたでしょうか。
新しい生活が始まります。顔を上げ、前を向き、突き進んでいってください。いつか、良いことばかりだったと到底言えないこの3年間のことを、ここで出会った仲間たちと笑い合える日が来るのかな。幸せな日々を送って下さい。元気だね。



3年5組担任
高橋 加奈子

「千思万考」と願った通り、緻密に考え計画的に行動できた生徒が多かったことを嬉しく思う一方、慎重になりすぎて行動に移せなかった人もいたのではと不安にも思います。これは私自身にも言えることかもしれません。コロナ禍という予測不能な事態に見舞われ、「今しかできないこと」を逃してはいまいかと感じるのです。
時は満ちました。春を迎え新しい環境に羽ばたくときです。今まで知らなかった景色を、新しく出会う人たちと分かち合い、自分にとって大切な何かを掴み取ってもらいたい。
これからの人生に素晴らしいことがたくさんありますように。そして辛いことがあっても周りの人たちの助けをもらいながら乗り越えていけますように。皆さんの健闘を祈っています。46 回生、卒業おめでとう！行動せよ！



3年6組担任
戸田 朋子

将来楽しみです

高校ご卒業おめでとうございます。いよいよ広い世界へ飛び立っていく準備ができたというところですね。
さて、皆さんは東京都民ですが、どんなところで生まれたらウィキペディアに載るような有名人になる率が高いのか。あるビッグデータの研究によれば、米国では、大都市で、有名大学があり、移民が多いところで生まれた人は有名人になれる可能性が高いそうです。日本にそのまま当てはまるかはわかりませんが、もしそうなら東京都に生まれた皆さんは大変恵まれていると言えます。将来楽しみですね。皆さんが大家になるまで長生きしたいです。
また、最近読んだ本の中に、The Boy Who Harnessed the Wind があります。マラウイの少年が、貧困のために学校にも行けなかったのに、自力で風力発電に成功するのです。そんな話を讀むと、恵まれた環境に生まれた皆さんには、自分の幸せの追求はもちろん、もっと大きな目標をもって羽ばたいてほしいという気持ちが強くなります。これからも応援しています。



3年7組担任
磯村 健二

ご卒業おめでとうございます。みなさんが勉強に励む姿を見ながら自分自身の学生生活を振り返りました。私が大切にしていたことは「迷ったら行動する」ということです。授業でカンボジアや高校でのボランティアの話をしましたが、最初から計画していたわけではありません。世の中の問題や本で読んだ話を自分で見たかったからです。人は行動して失敗した後悔よりも、行動しなかった後悔の方が残るらしいですよ。だったら若さを理由に失敗できるうちにやるだけです。勉強に関しては文理関係なく取り組みました。文系理系は便利な言葉ですが得意を伸ばすためのものであり、社会人になってもあまり関係ないです。しかし、苦手なものに向き合い周りに頼りながら自分のできることを広げる力は社会人になってからも役に立ちます。最後に教員を目指している人へ、大変な仕事ですが、楽な仕事なんてありません。でも時々楽しいこともある仕事ですので楽しみに待っています。